

SR-X526R1 V01.01 変更内容一覧

□機能追加

No.	項目	内容
1	外部メディアスタート機能	装置起動時に外部メディア(USBメモリ)に格納されたファームウェアおよび構成定義を使った自動更新を可能としました。本操作は、操作用PCを使わずに実行できます。
2	コンフィグトライアル機能	commitコマンドによる、構成定義反映の有効時間を指定可能としました。
3	ループ検出機能強化	ループ検出機能について以下の改善を実施しました。 1. ループ監視フレームのペイロードに装置固有情報を設定することで、無線LANコンバータなどで、Ethernetヘッダ中の送信元MACアドレスが変更された場合でもループ障害を検出できるよう改善しました。 2. 他装置が送信したループ監視フレームを受信した場合にループ障害を検出する動作モードを追加しました。
4	LAのリンクダウン改善	リンクアグリゲーションを構成しているetherポートに対してVLANの追加・削除を行ってもリンクアグリゲーション状態を一旦リンクダウンさせないよう改善しました。
5	シスログ機能強化	シスログメッセージの転送機能について以下の改善を実施しました。 1. RFC3164にて推奨されている、ホスト名(またはIPアドレス)とタイムスタンプをシスログメッセージのヘッダ部に設定できるようにしました。 2. syslogサーバを3つまで指定できるようにしました。更に、サーバ毎に送信プライオリティの設定ができるようにしました。
6	etherポートごとのLinkTrap制御	linkup/linkDownトラップをetherポート単位での送信可否を設定可能としました。
7	VLAN数の拡張	VLAN設定最大数を4094に拡張しました。
8	I'm here機能	READYランプとCHECKランプを交互に点滅させることで、保守作業員に本スイッチの位置を知らせることが出来ます。
9	10GBASE-CR SFP+ケーブルサポート	10GBASE-CR SFP+ケーブルをサポートし、10GBASE-CR SFP+ケーブル挿入時、show ether media-infoコマンドでSFP+(CR)と表示を行います。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01.00	MSTPのinstance設定の動的定義変更(stp domain Xの削除&追加)を繰り返すとメモリ枯渇によりシステムダウンすることがある。
2	V01.00	show looopdetectで表示されるstatusが実際の状態と異なる場合がある。
3	V01.00	telnet接続でログインし構成定義モードになった状態で、シリアルコンソールからのログインによってtelnetが強制ログアウトされた後、再度telnet接続でログインしたときにexitコマンドを2回実行しないとログアウトできない。
4	V01.00	ether L3監視機能およびバックアップポート機能を併用した構成において、バックアップポートへの稼働ポート切り替え後、別セグメントからの本装置宛てに対するpingにตอบสนองしない場合がある。
5	V01.00	LLDP機能において、本装置のひとつのポートで同一隣接装置からポート番号が異なるLLDP隣接装置情報を複数受信しても、そのうちひとつだけしか保持されない。
6	V01.00	IGMPスヌープ機能が次の運用条件の時に正常に動作しない。 (1) "igmpsnop unknown flooding off"と定義した場合、廃棄されるはずのIPv4マルチキャスト以外の宛先不明マルチキャストパケット(L2マルチキャスト、IPv6マルチキャストなど)が同一VLAN内へフラッディングされる。 (2) "igmpsnop unknown flooding on"を定義した場合にIGMP SNOOP機能が動作しない。
7	V01.00	IGMPスヌープにて同一グループアドレスとみなすべきIGMP MembershipReportを受信した場合に、別グループと誤判断してマルチキャストエントリを装置に登録するが失敗し、その260秒後にシステムダウンする。
8	V01.00	IGMPスヌープにて同一グループアドレスとみなすべきIGMP MembershipReportを受信した場合に、別グループと誤判断して装置に登録しようとし登録失敗となることがある。
9	V01.00	IGMPスヌープ機能利用時にマルチキャストパケットを受信すると装置がシステムダウンまたはハングすることがある。
10	V01.00	吸気温度異常が発生し、縮退モードへ遷移後の show system statusコマンドの吸気温度計の状態表示がalarmとなるべきところが、warningを示している。
11	V01.00	IGMPスヌープとリンクアグリゲーションを併用した場合に、誤ったリンクアグリゲーションに対しマルチキャストパケットを転送する場合がある。